

令和7年度 遠野市立学校働き方改革アクションプラン

遠野市立達曽部小学校では、「遠野市立学校教職員働き方改革プラン」に基づき、以下の取組により学校における働き方改革を推進します。

目指す姿

- ◆ 教職員一人一人が主体的に働き方改革に取り組むとともに、組織として改革を推進している。
- ◆ 管理職が積極的に職員とのコミュニケーションを図り、個々の意見を取り入れながら業務の改善に取り組んでいる。
- ◆ 地域や保護者との協働活動を推進している。

働き方改革の重点取組

取組① 業務内容、実施方法等の見直し

- ◆ 全ての業務や行事の内容、方法等の目的を明確にしながら教育活動を精選することにより、引き続きスクラップ&ビルドに取り組むよう努める。
- ◆ 会議等の効果的な進め方を検討することにより、業務の効率化に努める。

取組② 地域や保護者と連携した協働活動の推進

- ◆ 学校が本来行うべき業務とそうではない業務について検討し、学校運営協議会に協力を依頼しながら、本校の実態に合わせた協働活動を進めていくよう努める。
- ◆ 昨年度から進めているPTA活動の見直しを継続し、保護者との協働活動をさらに推進していく。

取組③ 時間外在校時間の削減

- ◆ 一斉定時退庁は、各自の業務内容等で難しい現状であるので、各自で業務をセルフマネジメントして定時退庁（17時までの範囲）できる日を設定するなど、働き方改革に対する職員一人一人の主体的な意識の向上と実践化を図る。
- ◆ 時間外在校時間の多い職員の状況を把握するとともに、毎月15日を時間外在校時間チェック日とし、各自確認し、改善する必要がある本人とともに改善策を協議しながら改善に努める。

	現状	具体的成果目標 (数値目標)	関係する 重点取組
目標①	時間外在校等時間の月 45 時間以上の人数が特に学期始めに多い。	時間外在校等時間の月 45 時間以上の人数を毎月2人以下にする。	① ・ ③
目標②	働き方改革を進めるための地域や保護者との協働活動が少ない。	働き方改革を進めるための地域や保護者との協働活動の一つ以上計画し実施する。	②
目標③	教職員が定時退庁していることが少ない。	一斉ではなくても、教職員全員が月に3回以上定時（17時までに）退庁をする。	① ・ ③